令和元年６月５日発行　毎月１回５日発行　オイスカ通信 668 号　昭和 42 年 12 月 27 日　第三種郵便物認可　別紙

公益財団法人 オイスカ

FURUSATO！ ６月号

～オイスカ四国のふるさとづくり～

森づくりプロジェクト Mt.LOVE10　下草刈り活動

5月19日（日）に、オイスカ愛媛県推進協議会が実施した、忽那山桜植栽地の下草刈りに研修生2名と参加しました。

かなり草が茂っていましたが、晴天と時折吹くさわやかな風のお陰もあり、約20名の参加者により予定していた2時間で無事に作業を終えることができました。参加した研修生はメキシコからの2名でしたが、オイスカ総局が取り組む、「子供の森」計画等にボランティアとして関わっていたこともあり、この日も嬉しそうに参加しました。休憩時には、まだ慣れない日本語ながらも、積極的に会員の方々とコミュニケーションしていました。

忽那山にある陽光桜は、3月下旬が開花期です。オイスカが植えた桜の木も数年後には目を楽しませてくれることと思います。そのために適切な管理が重要なので、次回の下草刈り活動も参加したいと思います。愛媛県推進協議会の皆様ありがとうございました。（池田）

こんな田植え初めて！

5月5日（日）、陶地区のお田植祭りに早乙女として、トウ先輩と参加しました。私たちの他に、近所の方たち20人ぐらいが参加しました。私はミャンマーでは田植えをしたことがありますが、日本では初めてなのでとても楽しみでした。

お祭りが始まる前に、私たちは早乙女の衣装に着替えました。田植えの時たくさん動くので、崩れないように着付けするため、他の人に手伝ってもらいました。着るのが大変でした。

お祭りの最初に、大宮神社の神主さんによる参拝がありました。その後、早乙女の人たちで苗を植えていきました。皆で協力したので、1時間ぐらいで終わりました。

このお祭りは、田植えが始まる最初に行う日本の行事です。日本の文化に触れることが出来て楽しかったです。これからオイスカでも田植えが始まります。おいしいお米ができるように頑張りたいです。（マテ）

のまはま方ししの
しのよく替私
し、き女が神
におでたれ行が

☆おしらせ☆

どろんこ田植えフェス　開催！

あのイベントが帰ってくる！
今年もみんなで泥んこになろう！
海外の料理もお楽しみに！

日時　6月22日（土）　9:00～
場所　めぐるカフェ
綾川町小野甲 605－4

詳しくはコチラまで↓
TEL　087－876－3333
オイスカ四国研修センター

6月の予定

月日	曜日	イベント名	主催・協力	場所
6月1日	土	綾川推進協議会総会	綾川推進協議会	四国研修センター
6月5日	火	三豊推進協議会総会	三豊推進協議会	観音寺グランドホテル
6月 8日	金	香川東推進協議会総会 博進子供会　サツマイモつるさし交流	香川東推進協議会 博進子ども会	トレスタ白山 四国研修センター
6月10日	火	坂出推進協議会総会	坂出推進協議会	坂出グランドホテル
6月20日	木	徳島県推進協議会総会	徳島県推進協議会	阿波観光ホテル
6月22日	土	どろんこ田植えフェス	オイスカヤングリーダーズ	めぐるカフェ

「FURUSATO！」６月号　発行
公益財団法人　オイスカ四国研修センター
〒761-2103　香川県綾歌郡綾川町陶 5179-1
TEL　087-876-3333　FAX　087-876-3334
E-mail; oiscastc@oisca.org

古本で！「子供の森」計画サポートプロジェクト　OISCA × VALUE BOOKS

オイスカ　エスニックカレーを販売！

5月3・4日（金・土）に、丸亀市で行われた「丸亀お城まつり」で、中讃推進協議会の皆様と一緒にエスニックカレーを販売してきました。

今年で7回目の参加となるので、オイスカのカレーを食べに、まつりに来てくださっている方もたくさんいました。今年もさらにお客さんの胃袋を掴むために、みんなで頑張りました。

当日は天候にも恵まれ、販売日和でしたが、今年のまつりには、サンリオのキャラクターも参加しており、お客さんがあまり回ってこない状態になりました。参加した研修生は、最初は恥ずかしくて声が小さかったですが、サンリオに負けぬように徐々に「オイスカのエスニックカレーはいかがでしょうか。」「スパイシーで美味しいですよ。」とお客さんに声をかけるようになっていきました。カレー以外にも、センターの平飼い卵やシフォンケーキ等の加工品も販売しました。

2日間で600食近くのカレーを販売することができました。お客さんからも「日本のカレーとは、また違っておいしい」「この辛さがやみつきになる」とうれしい感想をいただきました。お買い求めいただいた皆様、ご協力いただきました中讃推進協議会の皆様ありがとうございました。（金澤）

カレーを買ってくれたお客さんと交流が出来ました。

来年もお待ちしています！

チャリティーボウリング大会

5月10日（金）、丸亀市土器町にある丸亀スターボウルで、四国電力総連主催のチャリティーボウリング大会が開催されました。この大会は、オイスカが実施している「子供の森」計画と東日本大震災復興支援の海岸林再生プロジェクト（仙台空港のある宮城県名取市で、津波により被災した海岸林100ヘクタールを10ヶ年で再生する計画）へのチャリティーということで近年、毎年開催されています。研修センターも招待を受け、研修生8名を含む11名が参加しました。

研修生の大半は、一度もボウリングをしたことがなく、最初は緊張してガーターが多かったですが、次第に慣れてきてコツをつかみ、ストライクやスペアも取り、2ゲーム目は、ほとんどの研修生のスコアが良くなりました。中にはダブル（ストライクを2回連続で取ること）を取った研修生もいました。

大会の最後には、四国電力総連のみなさん（約50名）と和やかに集合写真を撮り、お開きとなりました。

チャリティーボウリング大会にご招待いただき、またオイスカの活動のため寄付をしてくださった皆様、誠にありがとうございました。（小野）

これから、いろんなことを身に付けます！

本研修　開始！

新しい研修生が入所してから3か月が過ぎました。研修生は日本語学習と規律訓練を中心とした「基礎研修」を終え、5月からは各コースに特化した「本研修」に励んでいます。

現在四国センターの主軸となっている地域開発コースは、オイスカが目指す「ふるさと作り」に必要とされる幅広い視野を持ったリーダーシップのある人材を育成するためのコースです。そういうことから、本研修では農業・調理・食品加工理・食品加工の技術研修に加え、リーダーシップや環境保全、地域おこしなど、多岐に渡る分野を勉強します。家政研修は、調理に加え栄養や会計についての研修を中心に行います。

前半では各科目の基礎を理解し習得するとともに、後半では帰国後の活動を視野に、さらに学習を深め自国でどのように応用できるかを考えていきます。12月中旬の帰国（地域開発研修生）まで研修生にとっては目まぐるしい日々が続きますが、限られた時間で多くを学べるよう頑張ります。（永山）

農業

有機農業を中心に学びます。今年は研修生一人一人が管理する「個人畑」に力を入れ、栽培から収穫・経営まで身に着けます。

カントリーレポートの発表

母国の概要とイ日自国でのオ日スカ活動を日本語で説明します。お互いの国を知ることもできます。

講義

実技と合わせて、様々な講義をしています。栄養の講義で日本の食生活について学んだり、養鶏の講義でセンターの平飼養鶏について学びました。

とつげき！！！ 隣の研・修・生！

このコーナーでは、毎月研修生、技能実習生を１人をピックアップして、研修や生活など、いろんなことを聞いていきます！

第３回目は、パプアニューギニアの　アモスです！

アモス's profile

出身国　パプアニューギニア
研修コース　地域開発
誕生日　３月３日（24 歳）
趣味　　サッカー

5月7日（火）から本研修が始まりました。今回は研修についてインタビューをしました。

Q　本研修で一番大変な事は何ですか？

農業、調理、食品加工の研修はとても面白いです。初めて勉強することが多いので新鮮です。しかし、毎日忙しくて時間に追いやられています。一日が終わるのが本当に早く感じるので、パプアニューギニアにいた時は、時間を気にしていませんでしたが、今は最近買った腕時計を見て行動するようになりました。少し慣れてきましたがまだ大変です。

Q　5月24日（金）と29日（水）に自国についての発表をしましたが、どうでしたか？

皆さんの前で発表するのが初めてだったので、とても緊張しました。パソコン使ったことがないので、スライドを作るのが大変でしたが、先生や友達が教えてくれました手伝ってくれてありがとうございました。

発表して、改めて自分の国について分かりました。パプアニューギニアをもっとよくするために、日本での研修を頑張りたいです。

29 日に行われた中讃推進協議会でパプアニューギニアについて発表するアモス。

次回は、トゥ（ベトナム）を突撃！

オイスカに協力して下さる人を紹介！～いつもサポート有難うございます～

年に数回、当センターに足を運び、お手伝い下さる遠方の助っ人お三方。地元での活動についてお聞きしました。

6代目所長　柿沼　瑞穂

（山口県山口市小郡在住）

オイスカで学んだことを全てフルに活用しながら、念願の地域に密着した活動をしています。

活動を全ては書ききれませんが、まずは、「子ども食堂」。正確には「地域食堂」といって、希薄になった世代間交流を取り戻し、いずれは地域で困難を抱える人を助け合う関係を作ることが目標です。地元NPOに所属し、月１回「小郡みんな食堂」を開催すると共に、その資金調達も担当しています。

また、宇部高専でコーディネーター、山口大学で講師をしています。留学生のお世話から、学生に英語コミュニケーションの指導、高専のしくみをベトナムに輸出するプロジェクトのコーディネートをしています。

近い将来、未就学児や小学生を中心とした子どもの放課後の居場所を作りたいです。子育てをしながら働く女性を後押しする事業で、スポンサーを募集中です！

子育てと家族孝行をしながら忙しい毎日です。人生100年、頑張ります！

今年から小学生の息子の剛とこれから頑張ります！

お問い合わせは
kakinuma.mizuho@gmail.com

長野県支部　大槻　清子

長野県支部は長野・佐久・上田・中信・諏訪・伊那推進協議会の６推進協議会で構成され、中信推進協議会が中心となって活動しています。近年は松本市出身の方がバゴ研修センターで養蚕事業の支援を行っていることもあり、長野県支部としてもバゴ研修センターの養蚕事業の支援を行っています

バゴ研修センターで養蚕事業が始まったころ、長野県支部として県内で使われなくなった回転まぶしを農家さんから譲っていただき、研修センターに送る活動を行って来ました。近年では、バゴ研修センターで働くスタッフの住まいを立てる不要を会員さんの好意で集めたお金で援助したりと、バゴ研修センターのサポートに力を入れています。

また、10年前から松本市内の保育園・幼稚園・児童センターを中心に森のつみ木広場を行っています。

毎月中信推進協議会の役員会を開いては、オイスカの行事に参加を呼び掛けたり、地域の活動に参加したりと日々頑張っています。

お城まつりの手伝いに行ってきました！
（右から２番目）

広島県支部　葉名　康弘

当支部では、環境保全活動を充実させるため、2016年度から廿日市市の「もみのき森林公園」の一角約３ヘクタールをお借りして、そこを「オイスカの森in広島」として、当支部が設立してから20年続けている「山・林・SUN」活動と連携させた森林活動を展開しています。

「オイスカの森in広島」では、「憩いの空間づくり」をテーマに、間伐、倒木整理や植樹等を行っており、今年度は、５月26日（日）に実施しました。その整備したフィールドで７月に「山・林・SUN」活動を行う予定です。この活動では、「森で学び、森で遊ぼう」をテーマに、“木の大切さや森の楽しさ”を知ってもらうため、爽やかな森の中で、鳥の囀りや木々の音を感じ、樹木が発散するフィトンチッドを浴びながら下草刈りや間伐体験に汗を流し、森の工作で木のぬくもりを感じてもらっています。

当支部では、この活動を継続実施していくことで、オイスカの活動を幅広く知ってもらい、活動の和を広げています。

長年ある大きな木も大切に管理しています。